

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆日本政府が核兵器の非人道的影響に関する共同ステートメントに参加の方針
- ◆小溝事務総長のヨーロッパ及びアメリカ訪問
(リーダー都市への就任要請、核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合への出席等)
- ◆「国際平和デー」記念行事を開催しました
- ◆国連軍縮フェローズが広島・長崎を訪問
- ◆地中海平和都市会議が開催されました[オーバーニュ市(フランス)]
- ◆第5回「核兵器廃絶-地球市民集会ナガサキ」の開催について
- ◆国際女性デー2014「平和構築の担い手としての女性」記念の取組[マンチェスター市(イギリス)]
- ◆加盟都市の活動紹介(サンセバスチャン市(スペイン))
- ◆加盟都市5,000突破を記念する原爆ポスター展を開催しましょう!
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう!
- ◆9月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 158か国・地域 5,759自治体

=====

◆日本政府が核兵器の非人道的影響に関する共同ステートメントに参加の方針

=====

10月11日、外務省は、現在ニューヨークで開催されている国連総会第一委員会において発表される見込みの核兵器の人道的影響に関する共同ステートメントに日本が参加する予定であることを発表しました。これを受けて、平和首長会議会長である広島市の松井市長は同日のインタビューにおいて、「核兵器の非人道性について、今まで広島で行ってきたことを日本政府として公式に認め、支持していただいたことについて、非常にありがたいと受け止めています。」とコメントしました。

=====

◆小溝事務総長のヨーロッパ及びアメリカ訪問

(リーダー都市への就任要請、核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合への出席等)

[9月16日~27日 マンチェスター市(イギリス)、イーペル市(ベルギー)、
オーバーニュ市(フランス)、マラコフ市(フランス)、ニューヨーク市(アメリカ)]

=====

平和首長会議リーダー都市への就任要請等のため、平和首長会議の小溝事務総長がヨーロッパ三か国及びアメリカを訪問しました。マンチェスター市(イギリス)、イーペル市(ベルギー)、マラコフ市(フランス)及びグラノラズ市(スペイン)の市長等に対しリーダー都市への就任を要請し、マンチェスター市長、グラノラズ市長、マラコフ市長からその場で承諾書に署名をいただきました。

また、オーバーニュ市(フランス)で開催された地中海平和都市会議に出席し、松井会長メッセージの代読及びスピーチを行いました。併せて、会場で加盟要請を行った結果、メッシュダラ市(アルジェリア)の市長及びキシレア市(キプロス)の市長から加盟申請書を受領しました。(地中海平和都市会議については、後述)

ニューヨーク市（アメリカ）では、核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合にオブザーバーとして出席しました。小溝事務総長は、「核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合」開催に当たっての平和首長会議会長メッセージをケイン国連軍縮部上級代表等国連関係者及び岸田外務大臣に手渡し、「核兵器のない世界」に向けた取組を要請しました。併せて、ICAN 等主要な NGO の代表者と面会し、平和首長会議の今後の取組について説明するとともに、今後の連携について意見交換を行いました。

=====

◆「国際平和デー」記念行事を開催しました [9月21日]

=====

国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。この趣旨に賛同し、平和首長会議に加盟する世界の各都市に「国際平和デー」における記念行事の開催を呼び掛けたところ、数多くの都市で記念行事が開催されました。

広島市においても、「2020年までの核兵器廃絶を！」という平和首長会議の横断幕を掲げ、正午に原爆死没者慰霊碑に1分間の黙とうを捧げるとともに、「平和の鐘」を鳴らし、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を祈念しました。

▼関連記事（平和首長会議ウェブサイト）

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2013/201309_peaceday_hiro/index.html

また、先月紹介した事例に加え、次の自治体から、記念行事の開催報告が寄せられました。

国内：

- ・茨城町（茨城県） 黙とう（9月20日実施）
- ・枚方市（大阪府） 平和の鐘カリヨンの鐘打
- ・三島市（静岡県） サイレン吹鳴

<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/ipn013325.html>

- ・石垣市（沖縄県） 平和の鐘の鐘打

<http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/home/shiminhokenbu/shiminseikatsu/peacebell/teirei.html>

など

海外：オタワ市（カナダ）、ノリッジ市（イギリス）、ケンブリッジ市（イギリス）、リオデジャネイロ市（ブラジル）、フィレンツェ市（イタリア）、マリオン市（オーストラリア）、ルクセンブルク市（ルクセンブルク）、カリエール・スー・ポワシー市、ヴィルジュイフ市、オーバーニュ市、マラコフ市、ヴィトリー・スールセーヌ市、フォンテーヌ市（以上フランス）など

「国際平和デー」記念行事への皆様の御協力と連帯に感謝申し上げます。

=====

◆国連軍縮フェローズが広島・長崎を訪問

=====

国連軍縮フェローズが9月30日～10月2日にかけて広島を訪問し、広島平和記念資料館等の見学や被爆体験証言等を通して広島における被爆の実相について学ぶとともに、小溝事務総長から平和首長会議についてのブリーフィングを受けました。広島訪問後、一行は長崎に移動し、長崎における原爆被害の実相について理解を深めました。

国連軍縮フェロシップ計画とは、開発途上国を中心とした各国政府の若手外交官等からなる軍縮関係者に対して、国連総会及びジュネーブ軍縮会議の見学や関係国での研修を行い、軍縮に関する専門家を育成することを目的とするプログラムです。このプログラムは1978年の第1回国連軍縮特別総会で実施が決定され、1979年以降毎年実施されています。日本は、1982年の第2回国連軍縮特別総会においてプロ

グラム参加者の広島と長崎の訪問を提案し、1983年以降毎年受け入れを行っており、今回で31回目の訪問となります。

=====

◆地中海平和都市会議が開催されました

[9月20～21日、オバーニュ市（フランス）]

=====

先月御紹介したとおり、9月20日～21日、オバーニュ市において地中海平和都市会議が開催されました。平和首長会議副会長都市であるビオグラード・ナ・モル市（クロアチア）、グラノラズ市（スペイン）、及びフランス平和首長会議会長都市であるオバーニュ市が共催して、15か国から130名が参加し、「平和文化の発展における地域レベルの政策」をテーマに意見を交わしました。都市や市民を苦しめる現在の紛争や、経済危機に直面する都市における平和文化推進の方法など、地中海地域に関する話題を中心に幅広い問題が議論されました。「地中海における平和、その重大な必要性」をテーマとした全体会において、小溝事務総長は、「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という被爆者のメッセージを強調しました。希望のメッセージと行動と紛争の平和的解決への呼びかけは、現在又は過去に戦禍に苦しんできたパレスチナ、シリア、レバノンなど各国の都市の代表とも共有されました。

国際平和デーである9月21日、次の内容の最終アピールが採択されました。

- ・地中海地域で平和首長会議の取組を推進し、核兵器廃絶に尽力する。
- ・市民及び地域代表の参加により平和文化を地方行政のあらゆる分野に浸透させる。
- ・平和文化の普及のため自治体のネットワーク及び自国の諸機関を活用して体験を共有する。
- ・地域における紛争を検証し、紛争の平和的解決に向けた見解を発表するため都市の作業部会を結成する。

次回の会議は2014年にグラノラズ市で開催予定です。

▼最終アピール（英語）

<http://peacecities2013.wordpress.com/2013/09/23/conference-appeal/>

▼会議公式ウェブサイト（フランス語、スペイン語、英語、カタルーニャ語）

<http://peacecities2013.wordpress.com/>

=====

◆第5回「核兵器廃絶-地球市民集会ナガサキ」の開催について

[長崎市からのご案内]

=====

今年11月2日～4日、長崎市において標記集会を開催します。この集会は、国内外のNGO代表者や核軍縮専門家をパネリスト等として招き、分科会や全体会議を実施して、核兵器廃絶について話し合います。平和首長会議加盟自治体の多くの皆様にご参加いただきたくお願い申し上げます。

◆テーマ：ナガサキ・ヒロシマの声～いま世界を動かす核兵器の非人道性

◆日時：平成25年11月2日（土）～4日（月・祝）

◆場所：長崎原爆資料館ホール、長崎市平和会館ホール（長崎市平野町7-8）

▼問い合わせ先：核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会事務局（長崎市平和推進課内）

TEL: 095-844-1236

Eメール: nagasaki_globalcitizens@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://ngo-nagasaki.com/>

=====

◆国際女性デー2014「平和構築の担い手としての女性」記念の取組

[マンチェスター市（イギリス）からの呼び掛け 2014年3月8日]

=====

マンチェスター市は、「平和構築の担い手としての女性」をテーマとした2014年3月8日の国際女性デー

ー (IWD) を記念した取組を実施します。第一次世界大戦の開戦から 100 周年の節目であり、国際女性デー2014 は紛争解決及び平和構築に女性がこれまで果たしてきた、また今後果たしていく役割を記念するのに最適な機会です。国際紛争から地域の結びつきに至るまで、女性は主な平和構築の担い手です。マンチェスター市は 25 年以上にわたり国際女性デーを記念した取組を実施してきました。国際女性デーは、「国連女性の権利と国際平和デー」としても知られています。

マンチェスター市は、他の平和首長会議加盟自治体におかれても同様に国際女性デーを記念した取組を実施していただくよう呼び掛けています。

▼詳細記事：マンチェスター市ウェブサイト(英語)

http://www.manchester.gov.uk/info/200041/equality_and_diversity/5881/engagement_and_events

▼問い合わせ Eメール: internationalwomensdayinfo@manchester.gov.uk

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

*サンセバスチャン市 (スペイン)

「国際会議 2013-地方から始まる平和の構築」(10月10日~11日開催)

自治体レベルでの平和構築という大きな課題への挑戦に寄与するため、市民の平和の権利を推進する自治体レベルの国際的な経験の多様性を示す会議です。バスク地方の和平プロセスの実施に際しても追い風となることを意図しています。平和首長会議を代表して副会長都市であるマラコフ市(フランス)の代表が参加し、松井一實平和首長会議会長(広島市長)もビデオメッセージを寄せました。

▼関連情報(サンセバスチャン市 会議公式ウェブサイト)

<http://www.donostiapeace.com/en>

その他、上述の記事で紹介した、長崎市の「第5回『核兵器廃絶・地球市民集会ナガサキ』の開催」、マンチェスター市(イギリス)の「国際女性デー2014」についても平和首長会議ホームページの活動紹介コーナーで紹介しています。

▼加盟都市の活動(平和首長会議ウェブサイト)

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/index.html>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆加盟都市 5,000 突破を記念する原爆ポスター展を開催しましょう！

=====

平和首長会議では、加盟都市 5,000 突破を記念した原爆ポスター展を、国内外の加盟都市をあげて取り組んでいます。オーストリア・ウィーン市での開催を皮切りに、現在までに新宿区(東京都)や堺市(大阪府)、ロンドン市(イギリス)、ボルゴグラード市(ロシア)、カブール市(アフガニスタン)など、250を超える自治体がすでに開催しています。9月には、ザグレブ市(クロアチア)、カリエール・スー・ポワシー市(フランス)、マリオン市(オーストラリア)、ルクフェン市(オランダ)でそれぞれ開催されました。ぜひポスター展開催にご協力ください。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚+参考情報 1 枚

※この原爆ポスター展は、一昨年 11 月にスペインのグラノラズ市で開催した理事会及び昨年 1 月に開催した国内加盟都市会議において、加盟都市 5,000 突破を記念して、全加盟都市を挙げて新たなスター展を開催することとした決議に基づくものです。また、第 8 回総会で決定した行動計画でも、引き続きこのポスター展の拡大に取り組むこととしています。

=====

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

=====

2020 年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、一昨年 11 月の理事会及び昨年 1 月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は第 8 回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2013 年 10 月 1 日現在、826,891 筆の署名が集まっています。

全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。(署名はインターネットからも可能です。)

▼署名用紙 (PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly Updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名

<https://www.ssl-hiroins.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1333414321137/index.html>

=====

◆9 月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、9 月に次のような外国人来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組および加盟要請への協力をお願いしました。

*9 月 27 日 (金) フリオ・クリスティアン・ヒメネス・モリーナ
キューバ共和国スポーツ体育レクリエーション庁長官

▼関連情報：広島市/日々の動静—2013 年 9 月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1378110715491/index.html>

=====

◆平和首長会議加盟自治体数：158 か国・地域 5,759 自治体

=====

皆様のご理解とご協力により、今月 23 都市が新たに加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は 10 月 1 日現在で 5,759 自治体 (158 か国・地域) となりました。

このうち日本国内では、愛知県名古屋市など新たに 6 自治体が加盟し、国内の加盟自治体数は 1,372 自治体となりました。名古屋市の加盟により全政令指定都市が加盟し、また、三重県玉城町の加盟により三重県内の全自治体が加盟しました。三重県内全自治体の加盟により、全自治体が加盟した県は 8 県 (三重県、滋賀県、和歌山県、広島県、山口県、愛媛県、高知県、大分県) となりました。

海外については、9 月 19 日～21 日に開催された地中海平和都市会議における加盟要請の結果、キプロスからキシレア市が加盟した他、アルジェリアから初めてメッシュダラ市が加盟しました。これにより、平和首長会議の加盟自治体は 158 か国に広がりました。また、テヘラン平和博物館の加盟要請活動により、引き続きイランから 9 都市が加盟した他、カナダ、ドイツ、イタリア、アメリカ、メキシコからも新たに

自治体が加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしく申し上げます。

▼10月1日付新規加盟自治体一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2013/newmembers1310_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp